

2010年6月吉日

お客様 各位

帝国インキ製造株式会社
常務取締役 小倉 和彦

ポリオレフィン等衛生協議会PL（ポジティブリスト）の一部色材掲載変更に関する当社見解、対応のお知らせ

拝啓 貴社益々ご隆昌の段お慶び申し上げます。
平素は格別のご厚情を賜り衷心より御礼を申し上げます。

掲題の件につき、当社でも一部印刷インキに使用しております当該色材が当社印刷インキに配合された場合は、ポリ衛協PL 自主規制の対象外であること、並びに、当社では「動物及び人への変異原性が陰性」であることも含め、関連法規制、自主規制への適合が確認された色材を使用しておりますことをお知らせいたします。引き続き当社製品のご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

なお、当社も会員として所属する「印刷インキ工業連合会が取り纏めた掲題の件への見解、対応」を踏まえた上での当社見解の根拠を記載しますのでご参照ください。

- 記 -

1. 概要

ポリオレフィン等衛生協議会（以下「ポリ衛協」）から「平成 21 年度に実施した有機顔料の安全性試験の 1 種である Ames 試験で、Pigment Yellow 110、Pigment Red 146、Pigment Brown 23 の 3 試料について陽性と報告されましたので、色材 PL から保留リストに移行しました」との内容が発表されました（ポリ衛協 HP：2010 年 4 月 27 日付情報掲載）。これらの顔料は、当社も含め一部印刷インキに使用されています。

【参考】Ames 試験：物質の変異原性を評価するための試験法であるが、試験に原核生物を用いるので、厳密には動物や人のモデルにはなっていない。

2. 当社製品の一部に使用された場合に当該顔料が PL 対象外であるという見解の根拠

- (1) ポリ衛協 PL は、食品に直接触れる容器に関するものであり、直接食品に触れないことを前提とした印刷インキを対象としたものではなく、従って、当社等のインキ製品は PL 自主規制の対象外です。
- (2) ポリ衛協 PL は、食品に直接触れる用途の容器に使用しても支障ないと評価される化学物質等（色材顔料も含む）を掲載したものであり、それ以外の用途で使用した場合に法的、安全性的に支障がない化学物質等の全てをリストアップしているものではありません。
- (3) ポリ衛協は Ames 試験のみを実施した段階であり、「動物及び人への変異原性が陽性」という評価に必要な上位試験評価が未実施で、現段階では動物及び人への変異原性が陽性は確定していません。
- (4) ポリ衛協が実施した Ames 試験は、特定色材メーカーの 1 品目の 1 検体のみについてであり、多化する他顔料メーカーの全ての当該対象顔料について評価した結果ではありません。実際、当社使用の当該対象顔料は「動物及び人への変異原性が陰性」であることが確認されています。

以上